

- 農泊を地域全体で推進するため、地域住民を組織化
- 既存の資源(酪農業・農業・林業・タンチョウヅル・釧路湿原・村内にある既存の観光施設、体験施設・ガイド等)を活用し、インバウンドを意識した農泊コンテンツを作成
- 牛乳や乳製品、ハーブ等の野菜、チーズ製造の過程で生まれる副産物「ホエイ(乳清)」等を活用し、食の観光資源化を図る

北海道鶴居村



【採 択 年 度】
平成29年度

【事業実施期間】
平成29～30年度



モニターツアー



ガイド育成



商品開発

【実施体制】

特定非営利活動法人 美しい村・鶴居村観光協会

【事務局】美しい村・鶴居村観光協会(全体管理・調整)

タンチョウコミュニティ(農泊ガイドの育成、検討会運営)

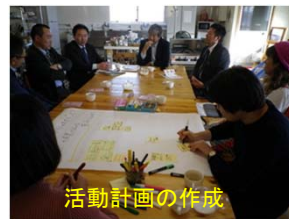
鶴居村スローライフ実行委員会(農村女性による新商品開発、モニターツアーの実施協力、プロモーションの実施)

ハーブマージョ/くろサイクルツーリズム推進協議会
鶴居村商工会/釧路川流域町村観光推進協議会
鶴居村あぐりねっとわーく/くろ長期滞在ビジネス研究会
(取り組みへのアドバイス、サポート)

鶴居村役場 企画財政課 産業振興課(取り組みのサポート、運営補助)

【特徴的な取組】

- 農泊ガイドの育成
- 農村女性による新メニューづくり・商品開発
- 農泊プロモーションの実施
- 美しい村モニターツアーの実施(秋・夏・冬)
- 農泊ポータルサイト「農泊宣言」の作成
- HPサイト内に滞在型観光ワンストップ窓口開設
- 鶴居村農泊推進プロジェクト活動計画の作成



活動計画の作成



新メニューづくり



パンフレットの配布

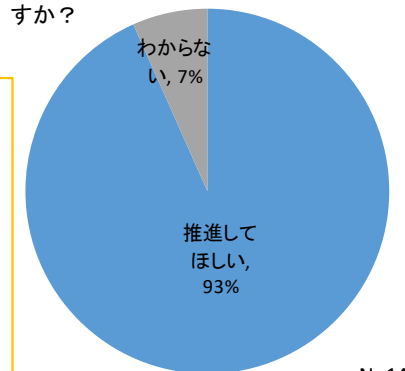
【取組内容】

●モニターツアーを活用した商品開発

電動アシスト付き自転車を活用した商品開発を実施した。
H29モニターツアーでは、自転車用誘導サインの検討も実施。
(検討したサイン)→



＜モニターツアーヒアリングシートより＞
Q.鶴居村では、サイクリングのルートや立ち寄り拠点を整理して、自転車で村内の観光を楽しんでほしいと考えています。こういった鶴居村の取り組みをどう思いますか？



N=14

＜モニターツアーヒアリング結果(抜粋)＞

- ・特にサイクリストは、曲がり角が合っているのか、間違っているのかを気にする。曲がり角に設置してあると、サイクリストにとって優しい街になると思う。
- ・ルートとして提案するのではなく、おすすめポイントだけ示して、自由に回遊できる仕組みもありだと思う。
- ・周辺景観への配慮も良いが、もう少し目立たせても良かったのでは？

●HP・パンフレット等による情報発信

農泊ポータルサイト「農泊宣言(日・英)」を開設、パンフレット「農泊宣言(日・英・繁)」「鶴居村の地域食(日・英)」を作成配布した。



インバウンド対応状況(青:対応)

Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュレス	外国語HP	外国語案内表示	外国語ネット予約
WiFi	WC	¥			